

1. 単元名 「M先生のバースデーパーティーをしよう」

2. 単元設定の理由

○こんな児童だから

本学級の子ども達は、英語活動で行うゲームなどを通して、友達と楽しく関わったり、また、「Hello song」などの歌を身振り手振りを交えながら元気よく歌ったりすることが好きである。これまで子ども達は、自分たちの伝えたいことを簡単な英語やジェスチャーで伝える活動に親しんできた。その中で、自分の言いたいことをなんとか伝えようと意欲を持って取り組んだり、相手が伝えようとしていることをなんとか分かるように姿勢が育ってきている子もいるが、多いとは言えない。M先生との活動は、どの子どもとも楽しみにしている。

事前アンケートでは、77%が「外国語活動が好き・だいたい好き」と答えた。主な理由に、「ゲームが楽しいから」「ALTと活動するのが楽しいから」「友達と英語を使ってかかわるのが楽しいから」などがあり、ゲームを通してALTや友達とかかわることが外国語活動の楽しさにつながっていると見える。外国語活動の中で達成感を感じたことがある児童は81%で、「ゲームで勝つことができたから」という理由が多かった。また、英語で人とかかわることに自信がある児童は71%で、「学校で教えてもらっているから」「楽しくなるから」「褒められると力が出るから」などの理由を挙げていた。一方、自信がないと答えた児童のほとんどが、「緊張するから」「英語が話せないから」を理由に挙げていた。さらに、英語で褒めたり褒められたりしたことがある児童は43%だったが、褒められると自信が高まると考えている児童は87%だった。

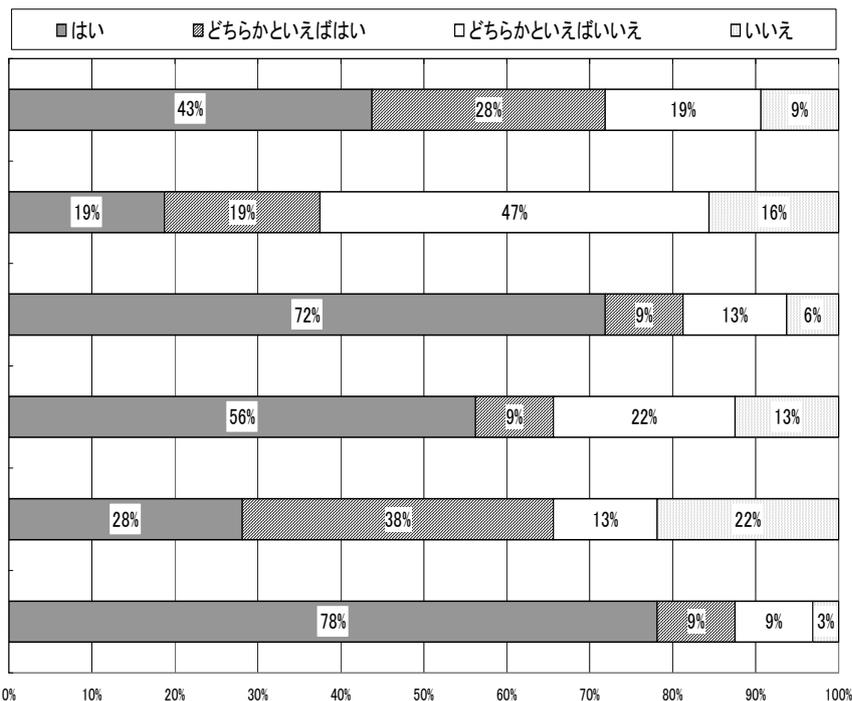
このことから、達成感を得るには「習った英語を使ってゲームができた・勝った」という経験が大きく影響していることや、「教えてもらう、褒められる」という経験が自信につながる事が分かった。また、間違いを恐れる気持ちや英語を話すことへの苦手意識が、コミュニケーションに自信を持つことへの妨げになっていることも分かった。

今まで、ゲームで勝つことで自信を高めてきた児童であるが、「褒める（褒められる）」「達成感を味わう」「人の役に立つ」手立てを工夫し、友達と助け合い課題を達成する活動を仕組んだり、仲間作りの活動を多く取り入れたりすることは、コミュニケーションを図ることに苦手意識がある児童にとって、特に有効ではないかと考えた。

資料：事前アンケート

《質問項目》

- ① 英語で人とかかわることに自信がありますか。
- ② 外国語活動で人の役に立つと感じることはありますか。
- ③ 外国語活動で達成感を感じたことはありますか。
- ④ 英語で友達を褒めたことがありますか。
- ⑤ 英語で友達に褒められたことはありますか。
- ⑥ 外国語活動で褒められたら自信がつかますか。



○「褒める」「人の役に立つ」「達成感を味わう」外国語活動とは  
 本単元では、コミュニケーションへの自信を高めることをねらいとして、「褒める」「人の役に立つ」「達成感を味わう」という3つのアプローチを図っていく。  
 全ての活動の中で教師が、児童の協力している姿やジェスチャーや簡単な英語でなんとか伝えようとしている姿などを具体的に褒めたり、活動後に、リフレクションカードに子どもたちが書いた反省を全員で共有する場面を設定し、全体で個々のよさを認め合う機会を持つ。それらの活動を HRT や ALT が意識的に行い、児童のコミュニケーションへの自信を高めさせたい。  
 本時では、ペア活動を取り入れ、互いに助け合いながら活動に取り組めるようにする。また、ペアでインタビュー活動をし、得た情報をグループに伝える活動を仕組み、人の役に立てる場を設定する。英語に自信がない児童も友達とコミュニケーションを図りながら、楽しんで活動に臨めるようにしたい。このことが、児童のコミュニケーションへの自信を高めることにつながっていくと考える。  
 単元を通して達成感を味わえる活動を仕組む。1時ではM先生のためにゲームを考え、2時ではプレゼントする物のテーマを決める。そして本時では、M先生の好きな物をインタビューしながらプレゼント作りをする。出来上がった物を全体の場で紹介し、交流し合うことで達成感を味わえるようにしたい。  
 このようにして、「褒める」「人の役に立つ」「達成感を味わう」活動を積み重ねることにより、コミュニケーションへの自信を高めさせたい。

3. 単元目標

- 簡単な英語やジェスチャーなどを使って、コミュニケーションを図ろうとする。
- 積極的に友達にインタビューしようとする。
- 英語を使って友達や ALT と活動することを通して、コミュニケーションを図ることへの自信を高める。

4. 単元計画

時	ねらい	主な活動	言語材料
1	M先生のバースデーパーティーで、どんなゲームをするか決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなゲームがあるか出し合う。</li> <li>・M先生にゲームの説明をする。</li> <li>・M先生の知っているゲームを紹介してもらう。</li> <li>・どのゲームがしたいか聞いて回る。</li> </ul>	I like ~. How about you?
2	M先生のバースデーパーティーで、どんなプレゼントを渡すか決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日にM先生が何がほしいか予想して会話をする。</li> <li>・M先生に、誕生日に何がほしいか聞く。</li> <li>・デザインする物のテーマを決める。</li> <li>・グループ作りをする。</li> </ul>	I think M sensei wants ~. How about you? I like ~. How about you? Pardon?を入れてもいい
3 本時	M先生へのプレゼントを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模様にしたいものをMが好きかどうかを尋ねる。</li> <li>・聞いてきたことを仲間に伝える。</li> <li>・プレゼントを紹介する。</li> </ul>	Do you like ~? I like ~. How about you? M sensei likes ~.
4	M先生のバースデーパーティーをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌</li> <li>・ゲーム</li> <li>・プレゼント渡し</li> </ul>	

5. 本時（3 / 4） 平成 21 年 10 月 14 日（水） 5 校時

6. 本時指導の考え方

本学級の児童は、前時までの活動でM先生のバースデーパーティーで、どんなゲームをするか決めたり、どんなプレゼントを渡すか、M先生の考えを予想し合ったり、話し合ったりしながら決めてきた。本時は、M先生のプレゼント作りである。グループごとにM先生の好きなものをインタビューし、同じグループの仲間に伝え、プレゼントを完成させる活動を行う。

はじめに、本時でプレゼント作りをすることを伝え、Tシャツ（プレゼント）の型紙を黒板に掲示する。そして、これから行うインタビュー活動を通して、M先生の気に入るようなTシャツをグループのみんなで協力して作り上げることを伝える。

M先生から聞き取った情報をグループの仲間に伝える活動を取り入れることで協力し、タスクを仕上げたという達成感を味わわせる。活動は、6人グループで一つのTシャツを作る。質問はペアで聞きに行き、一人一回は必ず質問する。

最後は、完成したプレゼントを紹介し合い、それまでの活動のよさ、デザインのよさなどを認め合う活動を入れる。

7. 本時の目標

○英語でM先生にインタビューしたり、聞いてきたことを友達に伝え、協力してプレゼント作りをすることで、英語で人とかかわることへの達成感を味わう。

8. 準備

教師：CD、型紙

児童：クレパス、デザイン画

9. 展開

時間	活動内容	教師の支援		指導上の留意点
		HRT	ALT	
3分	1 Greeting ・GTやHRTと元気に挨拶をする。	Let's say "Hello" to M sensei.	Hello, everyone. How are you? How is the weather? What day is it today?	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェスチャーやスキミングを取り入れた歌を歌い、緊張をほぐす。</li> </ul>
2分	2 Warm-up ・歌・・・"Hello song"	Let's sing a song.		
33分	3 Activity (1)学習のめあてを知る。	Today's aim is ~		
M先生のプレゼントを作ろう。				
	(2)M先生のプレゼント作りで、M先生が好きな物をデザインすることを伝え、そのために協力してM先生にペアでインタビューしに行くことを確認する。	M sensei, please demonstrate with me. Let's practice.		<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの全員が積極的にかかわり合うことで、目的が達成できることを伝える。</li> <li>デモンストレーションで活動の仕方を示す。</li> </ul>
	(3)インタビューの仕方を練習する。	<b>Demonstration</b> A:Hi. B:Hello. A:Do you like bananas? B:Yes. I like pink bananas. A:Ok. Pink bananas. Thank you.		
	(4)M先生にインタビューして、プレゼントを完成させる。 ・6グループに分かれる。 動物グループ 形グループ スポーツグループ 花グループ ・M先生にグループでインタビューしに行き、M先生の付けた条件を理解して、仲間に伝える。 <b>M sensei likes ~.</b> (簡単な英語 ・絵・ジェスチャー) ・M先生の気に入るプレゼントを作る。 ・完成したプレゼントをグループごとに発表する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>尋ねられたことに条件を付けて答える。</li> <li>子どもたちが協力し合う場面を作るために、難しい条件、聞き取りにくい早い英語で答える。</li> </ul>	
	3 Reflection ・感想を発表する	Any comments please.	<b>Praise</b> ・ Good! ・ Great! ・ Excellent! ・ Wonderful! ・ Good job!	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が積極的に活動を褒め活動への意欲を高めさせる。</li> <li>インタビューすることを先に考えさせておく。</li> <li>子どもたちがデザインしやすいように、原画を用意しておく。</li> </ul>
	4 Closing ・終わりのあいさつ	That's all for today. Thank you M sensei.	<b>Point</b> 友達との協力 英語の発音  See you	